

栄小学校 イチョウの樹齢調査に関して

2025/2/6

大島造園土木株式会社

樹木医 No3046 中尾真也

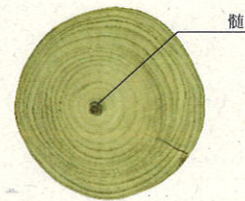
今回、栄小学校のイチョウの樹齢を知りたいという要望に対して、“インクリメントボア”と呼ばれるコアドリル法を提案します。

※レーダーを用いた非破壊の方法もありますが、一般的ではないので今回はコアドリル法を提案します。

インクリメントボアとは木の幹に直径5mm程度の小さな穴を開け、心材の芯（髄）までのコアを抜くことで、樹木への損傷を最小限に抑えながら、年齢や成長状態を調べることができる機械です。



Haglof (HP より抜粋) https://www.haglof.jp/product/pr_incre.html



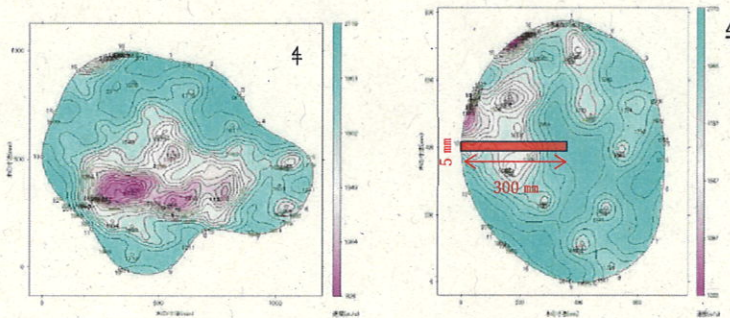
イチョウの年輪 (Wikipedia より)

2022 年の調査で地上から 2.4m の高さの断面形状が下記のように円形であることが分かっています。

よって今回は高さ 2.4m～4.0 あたりにコアドリルを 2 カ所ほど挿入し、コアを採取します。

※腐朽等の要因で心材の中心である髄が取れるとは限らない為、細かい年齢は推定になる可能性があります。

樹木に空いた穴には防腐剤（トップジン M ペースト等）を塗布します。



地上部から 0.2m の断面

地上部から 2.4m 断面とコアのイメージ

※コアを抜いた穴は数年で塞がるとはいえ、幹に傷をつける作業になります。作業時は十分配慮して実施しますが、ご理解ご協力をお願いいたします。